

文学博士  
的研究——  
対する授賞

日本漢字音の研究は、中国の音韻史や刊本等であった。——のままの筆跡が現存し日本漢字音を表記しているが、そのために、閲覧が容易で極く稀であった。沼東寺など、古寺の経に関する新資料を、個別的な論考を併せての研究があるものが、本書「口——」(汲古書



中で最も夙い時期  
等の資料群について

この他、「宋音・

法」(一五六八—

分韻表の提示を行

の「ホフ」が、無声

の形の促音に転ず

って、一一世紀か

以上、本書の主

及び梵字音資料と

これによって、日

献によって具体的

役割を果たしたこと

紐分韻表を作成し

は、今後の漢字音

尚、江戸時代の

においては、古代

の誤が指摘される

代の字音の用例を